

免許状教科	中学校Ⅰ種（社会）			
科目名	介護等体験事前事後指導	科目分類	教職科目	
			経済学科	■必修 □選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Practice Care Training	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
		開講期間	□前期 □後期 □通年 ■集中	
ふりがな	しばた ひろし	修得単位	2単位	
担当者名	柴田 博	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	・生活上の障害をもっている方々の状況を理解する。 ・教育現場と福祉現場での実習を通して障害をもって生活する方々を理解する。			
到達目標	「生活上の障害」を考えることができる。			
授業概要	福祉施設や特別支援学校の特性や社会に果たす役割を理解し、介護等体験実習を実践し、生活上の障害を学ぶことを通して、どのような支援が必要であるかを思考する授業としたい。			
授業計画				
第1回	「介護等体験」で、何を学ぶのか			
第2回	「介護等体験」の事前学習 ① 現代社会の教育の課題			
第3回	② 今、教師に求められる資質・力量			
第4回	③ 介護等体験の目的と概要			
第5回	④ 介護等体験の事前準備			
第6回	「介護等体験」の現場に立って ① 介護等体験の手順と方法			
第7回	② 特別支援学校等のあらましと介護等体験の心得・実際			
第8回	③ 社会福祉施設を取り巻く状況			
第9回	④ 社会福祉施設のあらまし（高齢者にかかわる施設）			
第10回	⑤ 社会福祉施設のあらまし（児童施設・障害児者にかかわる施設）			
第11回	介護等体験に臨む際の心構え			
第12回	介護等体験の実際			
第13回	実習報告とスーパービジョン			
第14回	介護等実習体験のまとめ			
第15回	介護等実習体験のまとめ			
第16回	試験・・・レポート作成			
授業時間外の学習	新聞・書籍・ビデオ等を視聴し、障害をもって生活している方々の生活を知っておくこと。			
履修条件 受講のルール				
テキスト	教師をめざす人の介護等体験ハンドブック 大修館書店、よくわかる社会福祉施設 全社協			
参考文献・資料	必要に応じて提示する 福祉に関するVTR 視聴			
成績評価の方法	学習態度、実習報告の内容、試験の総合評価 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。			
オフィスアワー	授業終了後			
成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)			
学生へのメッセージ	社会には、様々な障害をもつ方々がいることを学んでほしい。			